

2015年8月31日

久留米大学医学部医学教育研究センター

<http://csme.asuscomm.com/wp/>

神代龍吉、安達洋祐、柏木孝仁、北川周子

1. 私立大学等教育研究活性化設備整備事業への申請

平成27年度の文部科学省補助事業のタイプ1（教育の質的転換）に電子カリキュラムブック（アクティブ・シラバス）を申請した。これは従来のシラバスに加えてeラーニングやeポートフォリオへの gateway となり、キーワードを通じて他の講義ユニットとリンクし、各ユニット間連携を可能にする。さらに図書館ともリンクし、教科書・参考書・文献の検索を可能にする。学習者は自己評価と学習記録の保存が、教員は授業前資料配付と学習者の達成度評価が可能になる。補助金が得られた場合には一期的にこの計画を進めるが、得られなかった場合には以下2に示すように、少しずつシラバスを電子化していく予定である。

2. 教育センターのサーバ利用による教材の保存

この春より当センター教育用サーバに予習・復習用の教材をアップロードするスペースを作りつつあったが、来月よりトライアルとして教材を受け入れる。すでに複数の講座から要請があっている。先月のマンスリーレポートでお願いしたように、教材は著作権法に抵触しないものに限らせていただく。

3. 新規課目について

新カリキュラムの計画のなかには、人間関係論、臨床推論、キャリアガイダンスなど、新規の項目が掲げられている。目下、精力的にカリキュラム会議が持たれているが、このような科目の内容についても議論が深まることを希望する。

4. 学生からの意見

当センターに学生が訪れ、臨床推論の訓練を増やしてほしい、と述べて行った。そこで4年生、5年生の有志に集ってもらい話し合ったところ、症状・症候から鑑別していく思考回路がほとんどできていない、そのような目標を掲げた授業はあるが、実際にはスライドを使った一方通行的な講義に終始しているという意見がでた。当センターとしてもCPC的授業を可能にする学習方略を考えて行くが、教員各位のご協力・ご理解を望むところである。

5. 5年生、6年生の学習会支援について

5年生の土曜日午前の自主学習、6年生の勉強会部屋別チュータ制度に関するアンケートへのご協力に感謝する。結果はすべての集計を終えて発表する。

6. 模擬患者（SP）養成10周年記念会

SP養成10周年記念会を8月29日（土）に教育1号館で開催した。当初からご参加の

SPさん3名の講演と、この10年を振り返る講演を朝倉医師会病院の上野隆登院長と放射線科の安陪等思教授にいただいた。参加数はSPさん17名、教職員15名。

7. 寄付御礼

篤志ある方から当センターへご研究助成金を頂きました。大変ありがたいことです。センター職員一同心から感謝し、有効に利用させていただきます。

以上